

祝！甲子園出場

がんばれカトガク

1月24日、加藤学園高等学校硬式野球部の第92回選抜高等学校野球大会、いわゆる「センバツ」出場が決定しました。広報めまづでは貴重な練習の合間の時間をいただき、甲子園出場に向けたチームの熱い想いを伺うことができました。

チームメイトからの信頼が厚い勝又友則主将は「僕たちの強みは負けん気、そして諦めない気持ちです。強豪校が揃う甲子園でも、僕たちらしいチーム全員の全力プレーを貫いていきたいです」と意気込みを語ります。

中学時代から沼津で野球に打ち込んでいる大村善将内野手は「甲子園でもチーム力ではヒケをとらないと自負しています。家族と、これまで野球を教えてくれた指導者の皆さんに成長した姿を見てもらえるよう頑張ります」と甲子園での全力疾走を約束してくれました。

米山学監督の指導方針にある「野球だけじゃなく、社会に出ても恥ずかしくないように」という言葉を体現するように、選手たちの礼儀正しさや真摯な受け答えからは、頼もしさを感じることができました。一方で、写真撮影の際に見せてくれた、はつらつとした笑顔や和やかなムードからは、高校生らしさを垣間見ることもできました。

選手や関係者にとって初の夢舞台。そして私たち沼津市民も待ちに待った、市内の高校による63年ぶりの春の甲子園出場。加藤学園高等学校硬式野球部の躍進を期待しましょう！

